

専門科目医療相談—ミャンマー、ヤンゴン (5/30, 31)

1) ミャンマーで初の相談会を開催 (5/30-31)

ミャンマーの人口は5,913万人(2013年JETRO)。軍事政権から2011年3月に新政権が発足して以来、日本からも多くの企業がミャンマーに進出してくるようになった(2013年日系企業拠点数155)。それに伴い、日本人の在留者数も増加(2013年 邦人長期滞在者数891人)。ヤンゴンの人口は約695万人(2013年JETRO)でミャンマーの約11.7%を占め国内最大都市だ。今年度の医療巡回第一弾はこの、ヤンゴンで初めての歯科、小児科相談会を実施。歯科相談会は5月30日(金)、31日(土)の2日間で16名、小児科相談会は5月31日(土)の1日で4名が参加した。



2) ヤンゴン日本人会

ヤンゴンの医療相談会はヤンゴン日本人会(妻鹿英史会長)の主催でおこなわれた。相談会を担当くださったのは、今年度から厚生担当に就任された瀬戸典子さん。会場となったヤンゴン日本人学校は、在ミャンマー日本国大使館の附属学校で、昨年創立50周年を迎えた在校生159名の学校。校長は前任の置田和永先生から今年度引継がれた萩野幹夫先生。



左: 日本人会 瀬戸さん、日本人学校 松野教頭先生 右: ヤンゴン日本人学校

ヤンゴン日本人会: <http://ygn-jpn-association.com/>
 ヤンゴン日本人学校: <http://neoyjs.web.fc2.com/>



週末返上で受付のお手伝いをしてくれた日本人会のモエさんとサンさん、日本語がたいへんおじょうずでした。

3) 歯科相談会

- ・ JOMFの海外医療巡回ではお馴染みの、北京天衛診療所の田中健一先生が担当。
- ・ 今回の相談会では、LEDを応用したみがき残しを見分けるライトを使用。薬剤を塗ることなく、その場でみがき残しを本人が確認、歯みがきの癖を解析して正しい歯みがきの指導を受けた。



秘密兵器を持参した田中健一先生

4) 小児科相談会

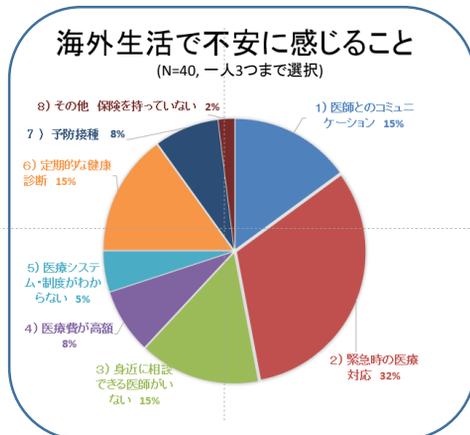
- ・ 担当はシンガポール在住の元田玲奈先生、今年の2月にはタイの小児科相談も担当。
- ・ 予防接種や既往症のケア方法をはじめ、全般的な発育・発達のチェック、ことばの発達の見し方などの相談に対応。



小児科元田玲奈先生

5) ヤンゴン医療事情

相談会に参加された方々へ、現地の医療事情についてアンケートを実施。回答者数が限定されていたが、ヤンゴンでは日本人が安心して利用できる医療設備が不十分なせいか、緊急時の医療対応への不安が多かった(32%)。今年度から各巡回先でアンケートを実施し、国別、地域別の医療事情をデータベース化していく。



JOMFの専門科目医療相談

JOMFは、海外に在留している日本人を医療面でサポートするために1985年に創立され、現在は海外で3か所の診療所の運営をしている。また、それを補完するために、2002年から専門科目の日本人医師を派遣して、世界の主要な都市で医療相談を実施している。

ミャンマーのヤンゴンは、ヤンゴン日本人会の会長(2014年当時)の熱心なご要望を受け、今年初めての実施となった。

JOMFの事業内容—海外専門科目医療相談:
<http://www.jomf.or.jp/about/jigyuu/special.html>